

第339号

2005年(平成17年)

4月20日

発行 明治大学
 編集 明治大学広報部
 TEL 03 (3296) 4083
 E-mail:
 koho@mics.meiji.ac.jp
 東京都千代田区神田駿
 河台1-1 (〒101-8301)
<http://www.meiji.ac.jp/>

希望を胸に 2005年度スタート



点 新入生の皆様ご入学おめでとうございます。これからの4年間間は人生で最も自由に勉強のできる日々が待っています。アンテナの数を可能な限り多くして、あらゆることに好奇心を持ってください。多くの情報を自分の能力の全てで受信して、友人に発信する際は正確であるよう心掛けましょう▼インターネットを活用する場合も、一箇所ではなく、いろいろな角度から知識を導入して欲しいのです。解からない単語はすぐに調べて、内容をよく読み、記事の真偽が判らない時は、手段を尽くして調べてごらんなさい。面白いほど理解が増えます。教員に尋ねるのもよいでしょう。一緒に考えましょう。新聞を読んでいれば気づくはずですが、各紙各様の意見を書いていても、ある段階がくると、同じような論調になっていきます。そんな時は外国のニュースを見たり、読んだりして欲しいと思います▼学生時代に最も満喫できるのが、50日の夏休みと2カ月余の春休みです。その間自然に触れる機会を持つとよいです。旅行に行く折も、その土地がどんな歴史に裏付けられているのか、どんな種類の動物や植物が分布しているのか知った上だと興味は何倍にもなります。せっかくの好機です。お寺での修行や、行脚をしてみるのもよいでしょう。石の上に座って遠くの木々を眺めていると葉の一枚一枚が鮮明に見えてくるものです。頭がすっきりして、それまで全然理解できなかった事象が、突然認識されたりするのです。さあ、知性の旅に出かけましょう。

2005年度学年暦

2005年度学年暦の特徴

○前期及び後期期間について

前期期間は4月1日(金)～9月19日(月)、後期期間は9月20日(火)～2006年3月31日(金)と設定します。

○補講について

駿河台校舎・和泉校舎の補講期間は、特定の補講日を設定せずに、前・後期試験開始日前3週間の土曜日を利用して補講を行います。

○月曜授業の振替等について

2004年度に設定した月曜授業の振替え及び月曜授業の休日実施については、2005年度は実施しません。

○大学祭の日程について

和泉校舎で実施される明大祭は

11月1日(火)～11月3日(木)、生田校舎で実施される生明祭は11月18日(金)～11月20日(日)に開催します。

すが、学部によって補講日を別に定めることもあります。生田校舎の補講期間は、前・後期後期試験開始日前の2日間を設定し、行います。

2005年度 学年暦

[前期]

前期期間	4月1日(金)～9月19日(月)
入学式	4月7日(木)
学習指導	駿河台・和泉校舎 4月2日(土)～4月9日(土)
	生田校舎 4月4日(月)～4月9日(土)
授業開始	全校舎 4月11日(月)
補講期間	駿河台・和泉校舎 7月2日(土)～7月16日(土)
	生田校舎 7月19日(火)・20日(水)
定期試験	全校舎 7月21日(木)～7月30日(土)
授業終了	全校舎 7月30日(土)
夏季休業	8月1日(月)～9月19日(月)

[後期]

後期期間	9月20日(火)～3月31日(金)
授業開始	全校舎 9月20日(火)
補講期間	駿河台・和泉校舎 12月10日(土)～12月24日(土)
	生田校舎 1月21日(土)・23日(月)
定期試験	駿河台・和泉校舎 1月23日(月)～2月4日(土)
	生田校舎 1月24日(火)～2月4日(土)
授業終了	全校舎 2月4日(土)
卒業式	全校舎 3月26日(日)

大学祭 明大祭(和泉校舎) 11月1日(火)～11月3日(木)
生明祭(生田校舎) 11月18日(金)～11月20日(日)

※補講日については、学部により上記以外の場合もある。



大盛況のお笑いライブ(生明祭)

学部長奨励賞受賞者

* () 内は、学科・出身校

学部長奨励賞は学部1・2年の課程を終えた学生のうち、学業成績優秀者を表彰し、学業の一層の励みにするとともに、新入生の勉学に対する動機付けの一助とすることを目的としている。

法学部	政治経済学部	理工学部	農学部	経営学部	文学部
三好 好 (法律・明大明治)	岩崎 瞳 (政治・真岡女)	隆太郎 (電気・明大明治)	沙 (農・国際)	子 (文・都立富士)	子 (文・都立富士)
安井 紀 ("・高田)	須賀 紀 ("・小石川)	惠 (電子・竹早)	沙句 ("・横須賀)	美 ("・淑徳与野)	美 ("・淑徳与野)
矢島 臣 ("・東野)	倉上 瞳 ("・田園調布学園)	晋介 (機工・大垣北)	宏 (農経・東金)	和 ("・多摩)	美 ("・多摩)
今井 夕希 ("・桐蔭)	ノ上 瞳 (経済・水城)	介 (機情・明大明治)	子 ("・湘南)	雅 ("・多摩)	美 ("・多摩)
三井 奈 ("・明大中野八王子)	相澤 瞬 ("・竹早)	晶 (機情・明大明治)	世 (農化・横浜雙葉)	伊 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
井浦 真 ("・新城)	澤 春 ("・千葉東)	晶直 (工化・舞岡)	世美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
木野 博 ("・明大明治)	西 健 ("・富岡西)	人 (情報・明大中野)	美 ("・武蔵)	百 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
辻村 正 ("・土佐)	井 真 ("・稲毛)	一人 (情報・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
田村 由美 ("・水戸一)	口 真 (地域行政・熊谷)	一 (情報・明大中野)	美 ("・武蔵)	百 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
大関 真由 ("・大和学園聖セシリア女)	藤 直 (政治・浜松西)	廣 (情報・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
岡崎 理 ("・浦和西)	田 孝 ("・熊谷)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
高井 麻里 ("・大検)	通 孝 ("・熊谷)	沙 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
三日 香 ("・佐伯鶴城)	浩 宗 ("・都立大付属)	宏 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
野高 奈津 ("・川越女)	隆 幸 ("・多摩)	子 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
高仲 和 ("・八千代)	小 隆 ("・昭和三洋)	世 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	大 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	美 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	美 ("・昭和三洋)
	高 橋 ("・昭和三洋)	美 ("・明大中野)	和 ("・武蔵)	小 ("・昭和三洋)	

"メイジ"を応援しよう!!

明治大学に誇りを持ち、好きになれ!

好きになれ!

新入生のみなさん、入学おめでとう。我々明治大学応援団はみなさんを心より歓迎します。みなさんはまだ入学したばかりで、分からないことばかりだと思います。しかし、みなさんには明治大学の輝ける4年間が約束されています。不安なことも多いでしょうが、明治大学に入学できたみなさんなら、どんな困難にも立ち向かうことができますはず。自分を信じ、前へ進みましょう。

みなさんの新たな母校・明治大学は文武両道で優れた成果を残し、伝統を重んじると同時に進取の精神に満ちた日本一の大学です。この明治大学にはみなさんが4年間という貴重な時間を有意義に過ごすための環境が整っています。しかし、何もしなければそれまでです。せっかく明治大学に入ったかには、思う存分、大学を利用し

ましょう。チャンスは至るところにあります。このチャンスを活かして、各界で活躍されている諸先輩方のようになって下さい。我々明治大学応援団は1年を通して体育会各部の応援をしています。我々は明治大学すべての学生を応援しています。もちろん、新入生のみなさんも応援しています。しかし、みなさんは応援するだけでなく、我々と共に明治大学を応援しましょう。個性の大切さが認知されるようになった昨今、団結というものの重要性をもう一度考えて下さい。さまざまな優れた個性が一つになったとき、それは無限の力を持つものです。みなさん、明治大学の名の下に一つになりましょう。何も難しいことはありません。みなさんが、明治大学に誇りを持ち、好きになればいいのです。たとえば神宮球場で母



團旗を従えエールをきる小林團長

明治大学応援団

1921年(大正10年)第11回エイトトラクディングポートレースにおいて、誕生したばかりの校歌「白雲なびく」をもって応援。翌年、正式に“愛と正義を標ぼうして学内の推進力となろう”という目的をもって創立された。創立当時は故相馬基氏が長髪をなびかせ紋付羽織袴の豪壮ないでたちで紅白の扇を振って登場、おなじみの3・3・7拍子で活発な応援をし、選手を激励した。また、スポーツの応援だけでなく23年の関東大震災で灰燼に化した明治大学の復興運動にも挺身した。昭和に入り日本が戦争へと突き進むなか、1941年(昭和16年)第2次世界大戦の勃発とともに学徒動員・学徒出陣等で自然解散となった。

終戦翌年の46年、戦後初代団長八巻恭介氏は「何が学生に希望を与え、明日を再建する礎となるか」と考え、応援団を再建。これに共鳴した学生20数名が参加し、新応援団が発足した。その後、47年に山川文三氏がそれまで変遷を重ねていたリーダー形式を一定させ、さらに明治大学伝統の“嵐の拍手”を生み出し、49年には他校に先んじて吹奏楽部を設置、50年には学生歌、新応援歌等が発表された。63年には外国の応援方法を研究し、バトントワラーズを設立。今日の応援団のかたちとなった。

校を応援しているとき、学生は一つになれるのです。それが、明治の力です。たとえ卒業しても消えることのない繋がりを作りましょう。それはきっと、いかなる資格や技術にも劣らない糧となることでしょう。

我々、明治大学応援団は学生が一つになるため、母校明治の名を高めるために日々努力精進しています。新入生のみなさん、共に校歌を謳いましょう。

小林 優作



神宮で校歌を謳おう



すべての明大生を応援します

第一応援歌

紫紺の歌

作詞 明治大学応援団
作曲 古賀 政男

一、光輝みつわれ等が
母校明治の名をおいて
若き血に勇める
猛き精鋭今ここに
起てり土を蹴りて
闘志はもゆる神技の精華
無敵の明治明治明治
輝く紫紺歳く我等
才明治明治われらが明治

二、高らかにわれ等が
振う紫紺の旗風に
雲は散り煙めく
若き日射は微笑みぬ
見よや肩上げて
勝利に進む巻の使命
無敵の明治明治明治
輝く紫紺歳く我等
才明治明治われらが明治

三、天を衝くわれ等が
意気は真紅の火ともえて
向うとこ敵なく
すてに陣頭正正と
敵をうちとりて
制覇を果す歓喜の鈴巻
無敵の明治明治明治
輝く紫紺歳く我等
才明治明治われらが明治

学生相談室案内

より豊かな学生生活をもとめて

青年期を生きる者、とりわけ大学生にとって「よりよい将来を」と願わぬ人は誰もいないでしょう。大学生活はこうした課題追求の場でもあります。

大学生活で遭遇するさまざまな出来事や人々との触れ合いが、学生にとって意義深い飛躍のステップになることが多い反面、それらがきっかけとなって深刻な問題や悩みを抱え込んでしまうことも珍しくありません。

隣の人に一言尋ねるだけで問題が解決する軽いものから極めて厄介なものまで、ぎっしり詰まっているのが私たちの日常生活ではないでしょうか。教室の場所が分からないといった些細なことから、学業、人間関係、身体状況、進路・資格問題、さらには深刻な人生問題にいたるまで、大学生活の場においても事情は全く同じです。

学生相談室とは、このようなもろもろの問題に対応するため、学生のみなさんの訴えに耳を傾け一緒になって最良の解決を目指す大学の一機関です。

相談に関する来室や相談内容の秘密は固く守られます。安心して来室してください。

🌀 例えば……

- * 学業について
- * クラブ・サークルについて
- * 進路と就職について
- * 性格上の悩みについて
- * 心の健康について
- * 経済上のことについて
- * 対人関係（友人関係、異性関係、家族関係）について
- * 法律的なことについて
- * その他、生活全般について
- ……など、どのようなことについてもお気軽にご相談ください。

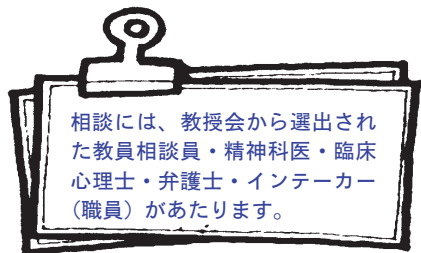
🌀 相談したいときは……

- * 相談日時は予約制になっています。インターカーと話し合った上、日時を決めてください。
- * 費用は不要です。
- * 来室しにくい時は、友人や家族と一緒にでも結構です。
- * 急ぎの場合はその場での面接も可能です。
- * 電話での申し込みも受け付けています。継続的な面談も行います。

🌀 行事案内……

学生相談室では、多くの学生たちの出会いの場を提供しています。奮って参加してください。予定が決まり次第、ホームページ等でお知らせしています。

- * 移動茶話会……農場体験やスポーツなど盛り沢山のスケジュール!!
- * 茶話会……様々なテーマについて先生方を囲みながら話し合いましょう!
- * 講演会……多様なテーマについて開催



相談には、教授会から選出された教員相談員・精神科医・臨床心理士・弁護士・インターカー（職員）があたります。

ホームページアドレス

<http://www.meiji.ac.jp/soudan/>

(ホームページでの相談は受け付けておりません)



昨年度実施した「パワーポイント入門」

2005年度前期行事予定

- ▼「パワーポイント入門」
※6月11日(土)開催、詳細は次号掲載予定
- ▼「スキندダイビングとスクーバダイビング」
- ▼「キャリアを考える」

など

(学生相談室)

学生相談室は、大学生活の上で起こるさまざまな問題解決のために来談者と一緒に考える一方、行事の開催を通じて学生生活への適応の援助も目指しています。

学生相談室行事の特徴は、各学部・短期大学から選ばれた教員相談員の専門を活かして多彩に展開していることです。昨年は、スキンドダイビングやスクーバダイビングを和泉校舎体育館プールで政治経済学部健康運動科学担当の先生の指導で体験したり、農学部科目「農学実験Ⅱ」で行う野鳥観察を学生相談室行事として実施したりするなど、10回以上の行事を開催してきました。

今年も盛りだくさんの行事を企画しています。

安全のため30名ほどの定員で実施する行事が多く、申し込み開始日のうちに定員になる企画もあります。学園だより、掲示板のポスター、掲示情報システムや明治大学ホームページ（キャンパスライフの項目のなかに学生相談室のページがあります）で順次お知らせしていきますので、ぜひ体験してみてください。駿河台・和泉・生田のキャンパスの枠を越えて新たな友人と知り合えることも学生相談室行事の魅力の一つです。

**学生相談室行事を
体験してみよう!**

相談室の窓から

原田 千恵子

(学生相談室事務長・
大学カウンセラー)

新入生のみなさん、入学おめでとございます。そして、ようこそ明治大学へ！
和泉・生田の学生相談室の4月は、新入生で賑わっています。これから始まる大学生活のあれこれを訊ねることやら、初めて体験する都会暮らしの戸惑いなどなど、この時期はガイダンス的相談が多くを占め、相談室の雰囲気も活気に溢れています。

「受験科目で選んだ学部がやりたいこととはちがう」「不合格だった大学への執着が断れない」「よてきて、入学後の目的が見いだせ

このキャンパスでは3人だけでなく、もっと多くの新入生や上級生、教職員と愉しく触れ合う機会が得られるように配慮しました。

お互いにアイスブレイキングやワークショップを通して、大学生活4年間のヒントを掴んで欲しいと願っています。

既に進路の希望が明確になっている人はそれをどんな方法で自己実現させるか、そうでない人も進路の希望をどのように見いだしていくのかを共に考えてみませんか。「自己発見プログラム」をはじめ、趣向を凝らした行事を盛り込む予定です。

スタッフ一同、今からワクワクしています。どんなホヤホヤの明大生に出逢うのかと！

「学生部からのお節介… — 出逢いへの誘い —」

「ない」といった悩みを抱えながら入学早々引きこもってしまった学生のご家族から、相談を毎年少なからず受けることになるからです。青年期を生きている者が、ひとりです立ち止まって「自分探し」をすることはとても大事な作業ではありませんが、長期化して大学へ戻る機

点に立つことも出来るのではないのでしょうか。そこで学生部は、お節介にも新入生たちに出逢いの場を提供したいとの意図から「新入生キャンプ」を立案しました。

自分の所属するコミュニティに3人の知人や友人がいるとうま

十分承知していただきます。

念なことです。

2005年度 相談員担当表

(駿河台)

曜日	相談員	所属学部等	担当時間
月	施 利 平	情報コミュニケーション学部	16:00~18:00
火	千 葉 貴 律 山 木 允 子 大 江 康 雄	経営学部 臨床心理士 精神科医	17:30~19:30 10:00~17:00 17:00~19:00
水	斎 藤 綱 子 大 花 井 義 櫻 井 義 之	文学部 臨床心理士 士	17:30~19:30 12:00~19:00 15:00~18:00 (第2水曜日)
木	高 橋 一 行 松 岡 努	政治経済学部 臨床心理士	17:30~19:30 16:00~20:00
金	星 野 茂 利 原 頼 利	法学部 学部	12:00~14:00 15:45~17:45

学生会館2階 開室時間 9:30~19:30
TEL 03-3296-4216~7 (土曜日) 8:30~12:00

(和 泉)

曜日	相談員	所属学部等	担当時間
月	小 野 正 弘	文学部	11:00~13:00
火	岩 波 力	政治経済学部	11:30~13:30
水	マクサマック・マイケルW 吉 田 恵 子 松 本 智 子	法学部 情報コミュニケーション学部 臨床心理士	11:00~12:00 18:00~19:00 14:00~16:00 11:00~18:00
木	石 井 知 章 小 林 信 行 松 岡 努 子 坂 村 敦 子	商学部 経営学部 臨床心理士 精神科医	11:00~13:00 13:00~14:00 18:00~19:00 11:00~15:00 14:00~16:00
金	小田切 紀 子 櫻 井 義 之	臨床心理士 士	11:15~18:00 13:00~16:00 (第1金曜日)

第一校舎2階 開室時間 11:00~19:00
TEL 03-5300-1178 (土曜日・原則隔週) 8:30~12:00

(生 田)

曜日	相談員	所属学部等	担当時間
月	大 矢 健	理工学部	12:15~14:15
火	貞 安 元	臨床心理士	10:00~16:00
水	樋 渡 さゆり 谷地森 久美子	農学部 臨床心理士	12:15~14:15 11:00~16:00
木	三 木 一 郎 良 田 麗 明 櫻 井 義 之	理工学部 精神科医 弁 護 士	10:50~12:50 (前期) 11:00~13:00 14:00~17:00 (第1木曜日) (第4木曜日)
金	三 木 一 郎 渡 辺 寛 人 大 花 井 義 之	理工学部 農学部 臨床心理士	11:00~13:00 (後期) 12:15~14:15 10:00~17:00
土	良 田 麗 明	精神科医	10:30~12:30 (第3土曜日)

中央校舎2階 開室時間 9:00~17:00
TEL 044-934-7619 (土曜日・原則隔週) 9:00~12:30

新種の『振り込め詐欺』に注意！

最近、他大学において新種の『振り込め詐欺』が発生しています。

その手口は、大学の名をかたり「学部研究費等の名目で虚偽の請求書が封書で郵送される」というものです。

同様の手口で本学学生、父母や家族の方々が被害にあうことも憂慮されます。十分注意をしてください。

不審な郵便物を受け取った場合や万一被害にあった場合は、郵便物を添えて各地区学生課、各学部事務室までご連絡ください。

体育会サッカー部



6年ぶりに1部復帰を果たした体育会サッカー部。昨年度はシーズンインを前にコーチ陣を一新し、プロコーチや専属トレーナーとも契約。トレーニング内容も充実し、関東大学サッカー選手権(兼総理大臣杯予選)でも初優勝、総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントでは3位になるなど大躍進。4月3日に開幕した関東大学サッカー1部リーグ、明大サッカー部の戦いぶりに注目しよう。

“High Speed & Moving Football”

新チームのコンセプトは「攻撃・守備・攻守の切替、全ての局面を高速で行い、ボールも人も動く」サッカー。高い位置から積極的にプレスをかけてボールを奪い、両サイドに素早く展開。テクニクのあるMFがサイドから崩すサッカーだ。

コーチングスタッフの改革によるトレーニングの充実

戦術の共通理解と豊富な運動量を必要とするHigh Speed & Moving Footballを支えるのが、充実したコーチングスタッフだ。

サッカー部は昨シーズンを前にコーチングスタッフを改革。神川コーチが監督に昇格し、コーチには東京ヴェルディから西ヶ谷エルディから西ヶ谷隆之氏が派遣され、創部以来初のプロコーチとして就任。トレーナーは東京ヴェルディの下部組織で4年の経験を持つ鍼灸師・芝田貴臣氏と専属契約した。

トレーニングの内容も大きく変わった。チームを「トップチーム」と下部の「リリーグチーム」の2つに分け、早朝のトレーニングを神川監督が1日おきに指導し、西ヶ谷コーチがもう一方のチームを日中に指導する体制を作り、チーム全体に戦術が浸透。西ヶ谷コーチのJリーグでの経験を生かした指導は、チームが慢性的に抱えていた「精神的な弱さ」の克服や戦術的・技術的な成長にもつながり、芝田トレーナーのフィジカルトレーニングは「豊富な活動量」や「コンタクトプレーでの強さ」となっており、ピッチ外では映像を活用したミーティングを行い、最近の明治の試合と次節の対戦相手の試合を15分程度に編集して情報の共有を図った。ミーティングはチーム全員で行い、ベンチ入りできないプレーヤーにも「チームの戦い方や狙い」を理解させ、スタンドで声援を送る部員からミーティングで確認した「キーワード」を伝えるなど、「チーム全員で勝利を目指す」雰囲気が出てきた。

チームが目指すもの

1993年に井澤現総監督が監督に就任した際、チームの目標を「明治大学の建学の精神「権利自由・独立自治」の通り、サッカーを通じての人間形成および学生サッカー界のトップに君臨することを目的とする」と定め、スローガンには「礼節を重んじる」、「思いやりと謙虚さ」、「フォア・ザ・チーム」を掲げた。この目標・スローガンをシーズン最初に新キャプテンが読み上げ、部員全員の行動規範としている。

学業とサッカーの高い次元での両立もチーム目標のひとつ。4年間の卒業はもちろんだが、「部内での人間関係だけでなく、さまざまな考え方を持つ学生や教職員との出会いが人的な成長を促す」(神川監督)と、ゼミナール活動や教職課程の履修などを推進。他にもOBを招いての講演会、OBの在籍する企業へのインターンシップなどを実施し、卒業後の進路選択にも力を入れている。

地域活動と付属校との連携

老人福祉施設での餅つき大会や夏の盆踊り大会への参加、近隣の幼稚園や中学生年代のサッカークラブとの連携などを行なっている。特に中学生年代のサッカークラブとの連携では、部員がコーチとなっており、双方が学ぶ場となっている。付属高校との連携では、優秀なプレーヤーの早期発掘という目的もあり、すでに明治高や中野高から数名が入部、成果が出始めている。

「また明治の試合が観たい!」と思わせる

チーム・コンセプトの“High Speed & Moving Football”に加え、神川監督は「どんな状況におかれても大学生らしくあきらめず

明治大学体育会サッカー部 1923年(大正11年)、故・井澤道夫氏(元日本サッカー協会顧問)の尽力により創部。全国大学サッカー選手権1回(1958年)、関東大学サッカーリーグ1回(1964年)、関東大学サッカー選手権1回(2004年)優勝。昨年度関東大学サッカー2部リーグ2位で6年ぶりに一部リーグ昇格。部員数59人。井澤千秋総監督、神川明彦監督。OBに杉山隆一(ジュビロ磐田スーパースター、元日本代表)、木村和司(サッカー解説者、元日本代表)、宮沢克行(新潟)、戸川健太(東京ヴェルディ)ら(敬称略)。



明大のゲームメーカー・小川

「文武両道」。体育会のあるべき姿を体現しているサッカー部、ぜひ一度生で応援してみては?」

1部開幕戦、駒大に完敗

関東大学サッカー1部リーグ戦 第1節(4月3日・西が丘)

明大 0 (0-1) 3 駒大

▽得点者【駒】宮崎2、原

6年ぶりに1部復帰を果たした明大の開幕戦は、昨シーズン3位の駒大との対戦。試合は序盤から駒大の一方的なペースで、ロングボールから連続攻撃を許す。それでもなんとか耐えてきた前半35分

ゴール前で相手FKを直接決められ先制される。

後半も開始直後の48分に駒大のスローインからあっさり追加点を許し、さらに60分には3点目を奪われ試合を決められた。明大は70分すぎから何度か決定的な場面を作ったが、得点に結びつけることはできなかった。結局、終始駒大に試合を支配されての完敗。1部の洗礼を浴びる結果となった。

伊藤淳嗣主将(経営4、多々良学)

球際の厳しさ、寄せ、ルーズボール、すべての面で相手が1枚も2枚も上だった。次節はもう少し落ち着いて、細かいミスをなくしていきたい。今シーズンの目標は少しでも上位を目指すこと。全力で頑張るので、学生のみならずもぜひ応援に来て下さい。

関東大学サッカーリーグ戦【前期】

節	月日	スコア	対戦相手	時間	会場
1	4月3日(日)	●0-3	駒大	14:40	西が丘
2	4月9日(土)	●1-2	国士大	12:30	西が丘
3	4月15日(金)	○3-0	東学大	18:30	駒沢第2競技場
4	4月23日(土)		東農大	12:30	駒沢第2競技場
5	4月29日(金)		流経大	14:40	山崎第2競技場
6	5月3日(火)		中大	12:30	スタチタ第1競技場
7	5月8日(日)		筑波大	14:40	スタチタ第1競技場
8	5月14日(土)		順大大	12:30	アミノ第1競技場
9	5月21日(土)		亜細亜大	12:30	アミノ第1競技場
10	5月29日(日)		日大	14:40	西が丘
11	6月5日(日)		法大	12:30	古河

明大ニユース

学部6693名、大学院877名

入学式を挙

2005年度の明治大学入学式が4月7日、日本武道館で挙行された。今年度の新入生は学部6693名、大学院877名。

納谷廣美学長の告辞、長吉泉理事長の祝辞に続き、新入生を代表して、経営学部経営学科の森田陽平さんが宣誓(写真1面右中)。

「これからの4年間、専門分野の修得はもとより、あらゆることを吸収したい。明治大学の学生であることを誇りに思い、実りある大学生活を送ることを誓う」と力強く述べた。



入学記念講演は、テレビ朝日キャスターの渡辺宜嗣氏(77年商卒)が「メディアは新しい風を待っている」と題して行なった(写真)。

4名が「3年卒業」

経営学部3年早期卒業

最後に応援団のリードで、新入生は参列者全員と明治大学校歌を斉唱。明大生としての新たな第一歩を踏み出した。

伝える技術が進歩しても、人の心は変わらない。新入生のみならずには人の心の痛みがわかる優しい「素敵」な人になってもらいたい」と語った。

最後に応援団のリードで、新入生は参列者全員と明治大学校歌を斉唱。明大生としての新たな第一歩を踏み出した。

明大から2件採択

「千代田学」事業提案制度

千代田区が募集していた「平成17年度『千代田学』に関する区内大学等の事業提案制度」にこのほど、水野勝之商学部教授と田路貴浩理工学部助教授のテーマ2件の採用が決定した。

この制度は、千代田区内にある大学・短期大学・大学院等の研究機関が行う千代田区に関する調査・研究事業に対し、区がその経費の一部を委託または助成するもの。大学と区、および大学と地域の連携を推進し、区に関するさまざまな事象をひとつの学問として学ぶ「千代田学」の確立および区政の伸展に寄与することを目的としている。

今回採択された事業名称は次のとおり。

▽水野勝之教授「e-千代田の推進を通しての新たなコミュニティの形成―福祉」という経済問題を解決するための一試案

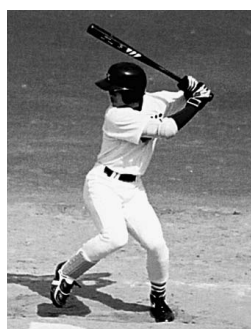
▽田路貴浩助教授「神田地域の歴史地図データベース構築」

なお、水野教授は昨年度も採択されており、今回で2度目となる。

「春」連覇を目指す

東京六大学野球春季リーグ戦

東京六大学野球春季リーグ戦が4月9日に開幕。東京・神宮球場を舞台に熱戦が繰り広げられる。明大は昨春のリーグ戦を制しており、「春」連覇を目指す。



演奏会だより

☆第54回東京六大学合唱連盟 定期演奏会☆

明大グリークラブ

「男声合唱とピアノのための『感傷的な二つの奏鳴曲』」

▼日時 5月3日(火)

▼16時開場、17時開演

▼会場 東京芸術劇場大ホール(池袋駅2B出口すぐ)

▼指揮 外山浩爾

▼ピアノ 小林功

▼入場料 S席2500円、A席2000円、B席1500円

▼問い合わせ 小松(TEL090-613516912)

六大学野球春季リーグ戦日程

4	23 (土)	慶一明	早一法
	24 (日)	法一早	明一慶
	30 (土)	*慶一立	早一東
5	1 (日)	*東一早	立一慶
	7 (土)	*立一法	明一東
	8 (日)	*東一明	法一立
	14 (土)	法一慶	早一明
	15 (日)	明一早	慶一法
	21 (土)	*法一明	立一東
	22 (日)	*東一立	明一法
	28 (土)	早一慶	
	29 (日)	慶一早	

※対戦校左側が三塁側で先攻、試合開始は2試合の場合11時、1試合の場合13時。
*はプロ野球併用日、開始時間は変わらない。

前期教科書販売のお知らせ

▷駿河台校舎 (三省堂書店明治大学駿河台店)
販売場所:リパティタワー地下1階 1002教室
販売期間:4月8日(金)~5月20日(金)
販売時間:平日 11:30~19:30
土曜 11:30~18:00(4月のみ販売予定)

▷和泉校舎 (三省堂書店明治大学和泉店)
販売場所:第二学生会館1階
販売期間:4月8日(金)~5月20日(金)
販売時間:平日 10:00~17:00
※4月11日(月)~22日(金)は10:00~20:00
土曜 10:00~17:00(4月のみ販売予定)

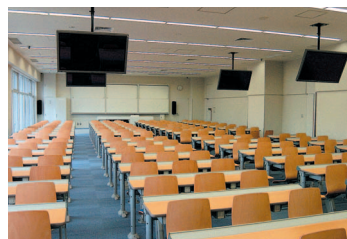
▷生田校舎 (丸善ブックセンター明治大学生田店)
販売場所:部室センター1階 多目的室
販売期間:4月8日(金)~5月13日(金)
販売時間:平日 9:30~16:30
土曜 9:30~12:30(4月のみ販売予定)

☆日曜・祝日及び大学の休業日は休みです。
☆販売期間終了後は各校舎の書店で販売します。
☆販売価格は現金払いのみ定価の10%引きです。
(図書券の場合は5%引きです。)

『明治大学学園だより』はホームページでも読むことができます
<http://www.meiji.ac.jp/koho/information/pr/gakendayori/index.html>

完成

和泉メディア棟



〔建物概要〕	
建物名称	和泉メディア棟
敷地面積	53,091.70㎡
建築面積	2,446.02㎡
床面積	13,403.18㎡
階数	地上7階 地下1階
最高高さ	37.338m
構造	鉄骨造

**新しいコミュニケーション
環境を創造する「知の泉」**

和泉校舎の新しいシンボル「和泉メディア棟」は、4つのコンセプトに基づき設計され、最先端のマルチメディア機器を利用した新しい教育、小教室を中心とするコミュニケーション型教育、情報設備と視聴覚設備を統合した自学自習システムなど、高度情報化に対応した教育の実現をはかります。人々が交流しながら新しいコミュニケーション環境を創造できる「知の泉」として、地球環境に配慮した「環境共生建築」として、21世紀にふさわしい新しい和泉キャンパスの創生をします。

① 機能的な建築計画

同じカテゴリーの教室を同一階に、エレベーター・エスカレーター・トイレといった共用部を建物中央に配置した、明確な建築計画と使いやすい導線計画。

② エコロジー

環境負荷の低減と省エネルギーを実現するために、太陽光発電、雨水再利用、エスカレーターの自動発停など、さまざまな環境共生技術を採用。とくに、外壁に二重サッシ(ダブルスキン)を採用し、南側に面した首都高速・甲州街道からの防音、防塵効果と自然エネルギーを利用した環境負荷低減を実現。

③ サステイナブル(永続性)

屋上に設備架台を設置し、将来の機器メンテナンス、防水工事に配慮。全面二重床の採用、教室内は無柱空間として将来のレイアウト変更に対応。情報EPS、PSは将来のシステム変更に対応。

④ 高度情報化への対応

高度情報化に対応するため、情報系の教室には新しいメディアを、一般教室には最新のプレゼン施設を設置。また、PCを最大限に活用するため、各教室に情報コンセント、ラウンジには無線LANを設置し、ユビキタス環境を構築。